

# J-ARCHITECT

ジェイアーキテクト JAKUETS Architectural Design Magazine

宝泉保育園 (群馬県)

vol.

12



JAKUETS

# 子どもたちの「もう一つのおうち」となる 切妻屋根の木造園舎

社会福祉法人 花輪光明会 宝泉保育園

群馬県太田市宝町で1977年（昭和52年）に開園した宝泉保育園。建物の老朽化を機に、新たに土地を購入しての移転、建て替えとなりました。2022年3月に完成した新園舎は、切妻屋根の木造平屋。縦割り保育にモンテッソーリ教育を行っている同園の方針を反映した変化に富んだ建築は、子どもたちにとって「もう一つのおうち」となる心地よさに満ちています。



1 在来工法による木造平屋の新園舎。シンプルな構成に妻側の小窓と塀のガラスブロックが呼応する。子どもたちにとっても家という意識が生まれ、絵にも描けるような単純な家形を目指した。

## 難航した土地探し。 好立地との出会いで好転

1977年（昭和52年）、群馬県太田市宝町に誕生した宝泉保育園。当時、宝町に団地が建設されたことで保育園が必要となり新設されました。以来、地域に密着した保育活動をしてきましたが、RC造2階建て園舎の老朽化に加え、手狭になっていたこともあり、移転して新たな園舎を建てるのが計画されました。

移転で一番たいへんだったのが土地探しでした。住宅地である宝町にはすでに広い土地はありませんでしたが、この町と共に歩んできた保育園としては、できるだけ宝町に近く登園しやすい場所である必要があったからです。そして、何年もかかってやっと見つかったのが、現在の場所、宝町と道路一本隔てた隣の沖野町でした。これまで別の建物に設けていた子育て支援室も駐車場も園庭も十分とれる広さと、幹線道路沿いの交通の便もよい場所という条件をすべて満たした好立地でした。さらに、設計を進める中で土地を買い足すことになり、より余裕のあるプランが可能となりました。土地探しには時間を費やしましたが、設計も施工も順調に進み、予定通り2022年4月から新園舎で新たなスタートを切ることができました。



2 玄関の小窓から3～5歳児保育室に向かって。各保育室の間は大きな引き戸が設けられているので、子どもたちは自由に行き来でき、玄関からも一番奥の保育室まで見通すことができる。



3,4 玄関ホールには絵本コーナーを置いた。機能性はもちろん、園の顔となる空間性も意図し、お雛様など季節ごとのしつらいも施せるような本棚をデザインした。





5,6,7 3～5歳児保育室。屋根勾配に合わせた天井には木の梁が伸びやかに走る、開放的な明るい空間となっている。各部屋間の引き戸は1間半と広くとったので、その開口を考慮した構造とした。

## 縦割り保育とモンテッソーリ教育。保育方針に応える変化に富んだ空間

敷地は必要条件を十分満たす広さだったことから園舎は平屋となりました。設計コンセプトは、「大家族で過ごす、もう一つのおうち」。同園は、縦割り保育にモンテッソーリ教育を実践しており、「子どもたちは兄弟姉妹のような関係。家庭的な雰囲気を持たせたい」という花輪理事長からの要望を反映したものです。切妻屋根の家形として、視覚的にも家という意識が生まれるものを目指しました。

配置は、北に駐車場、南に園庭。その間に置いた園舎は、光が採れるよう南の園庭に向かって大きく開いたブーメラン型の平面となっています。ブーメラン型にしたことで、内部がより広くなり、どの保育室にも光を十分に取り入れることができました。しかしながら、中心に行くほど広がるこのプランは、

保育室を一般的な長方形にして面積を均等にとるには不向きです。部屋ごとにやること異なり、子どもも1人1人異なる個性を尊重して自主性を育てるといふこの園の方針と、均一平等を優先するのではなく敷地条件に合わせて空間の質を高めていくという設計の考え方が合致したからこそ可能となった提案です。この園にはむしろ場所場所で異なる変化に富んだ空間がふさわしいとする設計方針で臨みました。

南側には門に近いところから保育室を年齢順に並べ、北側には厨房、トイレ、遊戯室、子育て支援室などを置きました。明るい保育室、園児の出入りは保育室ごと（分散型出入口）、職員室は園の中央に、各保育室の開口部は大きく、ロッカーは廊下に設置、といった園の要望を実現しています。

\* モンテッソーリ教育とは、医師で教育家であったマリア・モンテッソーリ（1870～1952）によって考案された教育法。「子どもには生来、自立・発達していくとする力（自己教育力）があり、その力が発揮されるためには発達に見合った環境（物的環境・人的環境）が必要である」という考え方のもと、適した環境を用意し、そこで子どもたちが自発的に学び、発達していくことを目指すもの。

\* 宝泉保育園では3～5歳児は縦割り保育を行い、モンテッソーリ教育としては「かんかく（感覚）」「げんご（言語）」「さんすう（算数）」「日常せいかつ（生活）」の4つの部屋を設け、それぞれの教具を備えている。午前中1時間、子どもたちは自分で好きな部屋を選び、好きなことをする。先生は教えるのではなく、教具の使い方を提示するのみで、子どもの自主性を見守る。



8 日本的な竹まいの軒は、2700mmとたっぷり深くとった。このデッキ空間は各保育室の出入り口であり、保育室を繋ぐ外廊下でもある。その動線を遮らないよう、下足入れは部屋側にインセットした。9 敷地が平坦かつ園舎も平屋なので、上り下り運動ができる起伏のある山をつくった。10 南の園庭に向かって大きく開かせたブーメラン型のプラン。北に駐車場を置き、冬の厳しい北風を園舎で遮る意図もある。



## 国産のスギ、ヒノキを多用した、 在来工法による木造

この園舎は、在来工法による木造という点も特徴です。土地が決まった段階ですでに木造の平屋という案が生まれていました。担当設計士は以前、木造平屋の園舎を手掛けた経験があり、この園には木の温もりある建築が適しているのではないかとイメージと、相談できる木構造アドバイザーの存在があったからです。

用いた主な木材は国産のスギ、ヒノキの規格材で、梁のみベイマツの集成材です。木の香が漂う、継手・仕口で組まれた構造は圧巻の美しさ。梁は現しとし、木の質感を引き立たせる白を基調としたインテリアにしました。梁が連続する長い廊下は、木造の見せ場ともなっています。



**11** 遊戯室から廊下に向かって。高い天井に梁が連続する美しい空間が広がる。子どもたちの荷物を入れるロッカーは廊下に設置。ここで着替えもできるよう広くスペースをとっている。  
**12** 建物の中央部に配置した遊戯室。お昼寝スペースとしても活用している。隣(正面の白い壁)は子育て支援室。



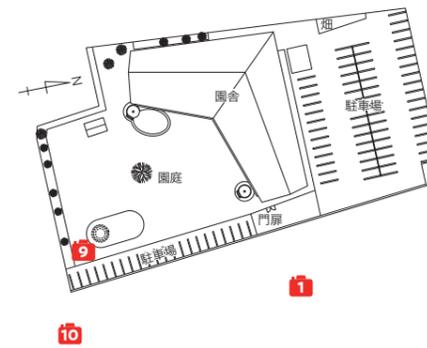
**13** 1歳児保育室。丸柱が映える木造ならではの空間。園庭側の大きな開口部を開け放せばデッキと一体になり、より広くのびのびとした空間となる。



**14** 3~5歳児用のトイレ。園全体としては白を基調としているが、トレイは爽やかな彩りに。**15** 0歳児保育室。保護者の動線を考慮して、門から一番近いところに置き、まだ歩けない子どもたちも外が見えるように地窓を設けた。



配置図 1/2000



平面図 1/500



美しい木構造を見せる建設中の内部。「床壁を張ってしまうのがもったいないくらいきれいでした」と花輪理事長。準耐火構造の制約がある中で、木造であることを視覚的にも表現しようと、梁はできる限り見せるつくりとした。

### DATA

#### 社会福祉法人 花輪光明会 「宝泉保育園」

所在地	群馬県太田市	主な木材	土台:ヒノキ
主要用途	保育所	根太:ベイマツ	
定員	135名	大引き:ベイマツ	
竣工	2022年3月	柱:スギ、ヒノキ(1歳児保育室、子育て支援室の丸柱)	
.....		梁:ベイマツ	
構造	木造平屋建て	棟木/谷木/登梁/母屋/小屋束/垂木/筋交い:ベイマツ	
敷地面積	6,102.86㎡		
建築面積	1,180.30㎡		
延床面積	1,031.53㎡		
.....			

開放的で見通しのいい園舎は、職員の距離を縮め、協力を促すという効果もありました。

社会福祉法人 花輪光明会 宝泉保育園

理事長 花輪通代氏

園長 高橋留美氏

花輪理事長

宝泉保育園は、健康的な身体づくりと縦割り保育によるモンテッソーリ教育を大きな二本柱に、いつも明るく活き活きとした心豊かな子どもの育成を目指しています。縦割り保育とモンテッソーリ教育は、約35年前から取り入れています。

ジャクエツさんとのつきあいは長くて50年くらいになります。当法人が運営する由良保育園で教材から始まり、園舎の改修や7年前の建て替えもジャクエツさんをお願いしました。そういう経緯もあって、当園の移転・建て替えも当たり前のようにジャクエツさんに相談したんです。信頼もありましたし、こちらの要望や好みなども理解いただいていたのでやりとりにストレスもありませんでした。

要望は、とにかく明るく開放的な保育室。子どもたちの横の繋がりを強くしたかったので、行き来が楽なように開口部を広くしてもらいました。そして、全体的にも見通しのきく開放的な空間をお願いしました。そうしたら、職員同士がより協力し合うようになったんです。お互いによく見えるから、

たいへんそうにしていたら自然と助け合うようになって。予想外の効果でしたね。玄関ホールの絵本コーナーも素敵な提案でした。絵本の貸し出しをするなど読書の素晴らしさをずっと伝えてきた当園にとってあの本棚は誇りです。自慢の空間となりました。

また、当園は親御さんの負担もできるだけ減らしたいと考えていまして、新園舎では全園児にお昼寝用のベッドを用意しました。そういった備品もジャクエツさんをお願いできるのはとても楽ですね。備品に合わせて収納スペースも設計してくださって、安心してすべてお任せすることができました。

高橋園長

新園舎は、内部の開放的な空間はもちろん、安全を確保しながら外にも開けている点もいいと感じています。子どもたちは、私たち職員の行動もちゃんと見ていて、外に用事が出る時には行ってらっしゃいって手を振ってくれたり。お散歩で通るおじいちゃんおばあちゃんと挨拶を交わしたりもしています。人が見える空間になっているんですね。職員間も、先輩後輩といった関係も以前より距離が近くなり、働きやすくなりました。

白にこだわったインテリアも素敵です。理事長も私もいわゆる保育園という空間ではなく、美術館や図書館みたいな空間がいいなど言っていたのですが、その通りの空間を実現してくれました。モンテッソーリの教具は原色がほとんどなので、よく映える白い背景はぴったりでした。

JAKUETS

設計士

宇都宮設計事務所 建築設計課

荻野浩和



花輪理事長とは、由良保育園の設計からのおつきあいです。当時も、楽しく仕事のできたので、宝泉保育園の設計依頼はうれしかったです。私は、ふたつの保育園と同じ群馬県東毛地区出身で在住です。この地域の季節の特性を考慮した設計提案を心掛けました。

設計士

東京設計事務所 建築設計課

玉川遥香



最初に訪れた時の園の温かな雰囲気と子どもたちの生き生きした様子が印象的で、その宝泉保育園らしさを新園舎に表したいという想いで設計をしました。いろいろな場所で視線が行き交う園舎は、お互いの存在をより感じられる空間になったのではないかと思います。

株式会社ジャクエツ 一級建築士事務所

- ・福井本社 〒914-0125 福井県敦賀市若葉町2-1770 TEL. 0770-21-0111
- ・東京設計事務所 〒108-0074 東京都港区高輪4-22-4 TEL. 03-5789-1100
- ・横浜設計事務所 〒221-0865 神奈川県横浜市神奈川区片倉2-22-1 TEL. 045-488-6253
- ・宇都宮設計事務所 〒320-0847 栃木県宇都宮市滝谷町20-17 TEL. 028-614-5070

- ・名古屋設計事務所 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-11-32 TEL. 052-265-2730
- ・大阪設計事務所 〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-11-3 TEL. 06-6471-3939
- ・広島設計事務所 〒730-0843 広島県広島市中区舟入本町6-21 TEL. 082-531-0770
- ・福岡設計事務所 〒812-0896 福岡県福岡市博多区東光寺町2-8-31 TEL. 092-451-0117